FD Information

令和５年１月２５日　第 47 号

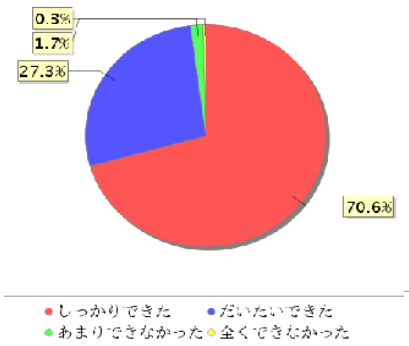
大垣女子短期大学　総合教育センター　FD 専門部会

前期授業評価　『学生から教員の方々へ』

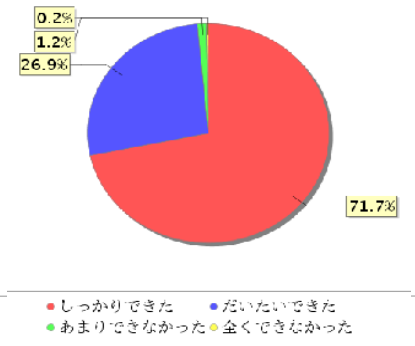
令和４年度前期の学生による授業評価を全学科で実施しました。結果のまとめを以下に示します。

□　自己評価の結果

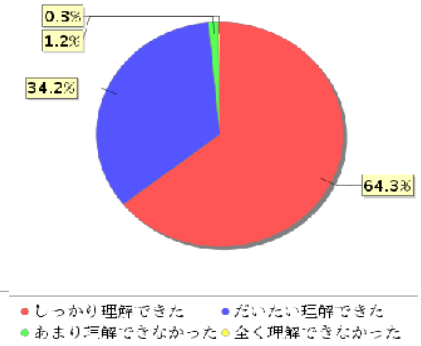
授業中のマナーを守って受講しましたか



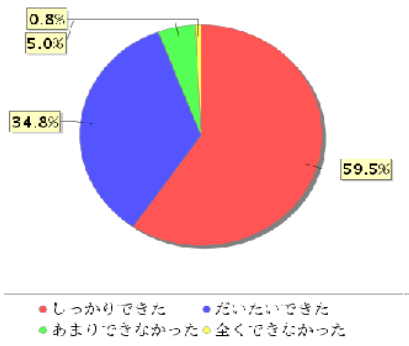
授業に意欲的に取り組めましたか



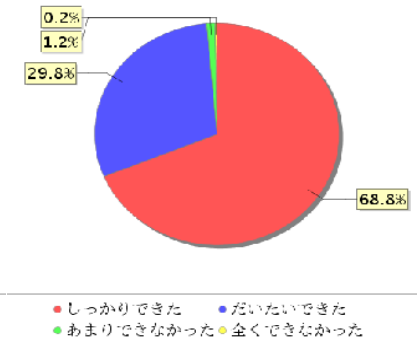
授業の内容は理解できましたか



時間外での学修に意欲的に取り組みましたか

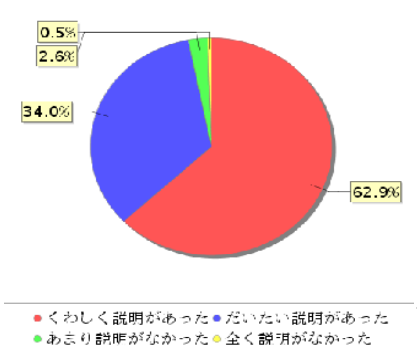


新しい知識や技能を修得できましたか

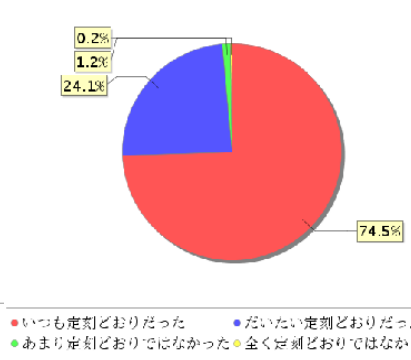


□　授業評価の結果

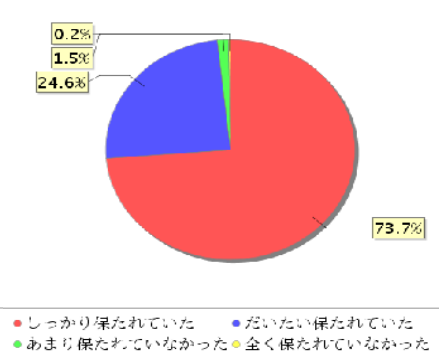
授業内でシラバスの説明はありましたか



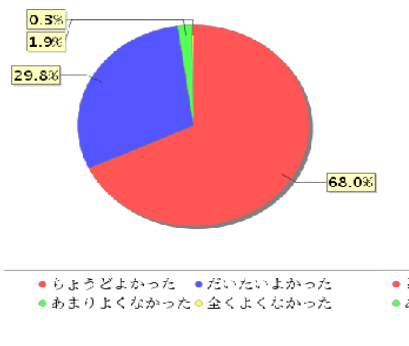
授業の開始・終了時間はどおりでしたか



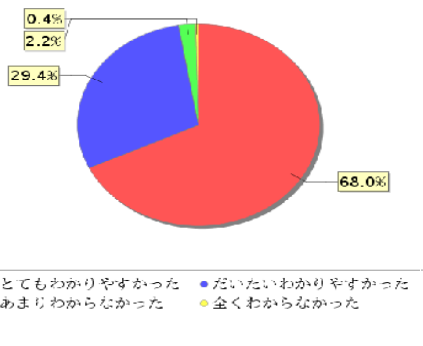
集中するための環境は保たれていましたか



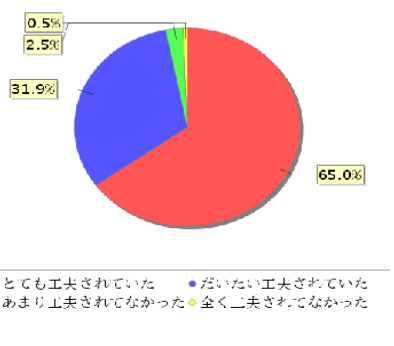
進度やレベルについてどう感じましたか



授業の説明はわかりやすかったですか



学生の意欲や理解を促す工夫はありましたか



＜今回の結果からわかること＞

１．授業評価の実施について

今年度から授業評価について以下４点の変更を行いました。

1　全科目で実施することとしました。
2　質問項目を減らしました。
3　質問項目を自己評価と授業評価に分けました。
4　講義系と実技系で分かれていた質問項目を統一しました。

以上の変更を行い、実施した結果分析を以下に報告します。

２．学生による自己評価について

今年度から、「授業中のマナー」「授業に対する意欲」「時間外での学修に対する意欲」についての質問により「関心・意欲・態度」を、「授業内容の理解」についての質問により「知識・理解」を、そして「新しい知識や技能の修得」についての質問により「技能」を評価することとしました。

結果は、いずれの質問に対しても、「しっかりできた」「だいたいできた」を合わせると 90%を超えているなど肯定的な評価がほとんどであり、ほとんどの学生が前向きに学生生活に取り組んでいることがわかりました。しかし、一層充実した学生生活を目指すために、「しっかりできた」との回答に焦点を当てて分析すると、「関心・意欲・態度」を測る「授業中のマナー」と「授業への意欲的な取組」については 70%を超えていますが、「時間外での学修への取組」については 59.5%と低い結果となっています。さらに、「あまりできなかった」が 5.0%、「全くできなかった」が 0.8%と、他の質問には見られない高い結果となっています。このことから、確かな学力とより高度な技能を身に付けるためにも、時間外の学習への取組の改善が課題と考えられます。また、「授業の内容理解」と「新しい技能の修得」についても、それぞれ 64.3%、68.8%と、意欲に関する質問と比較すると若干低い結果となっています。このことから、さらに充実した学生生活の実現のためにも、より魅力的かつ有益な指導を行うための授業改善が求められていると考えられます。

３．学生による授業評価について

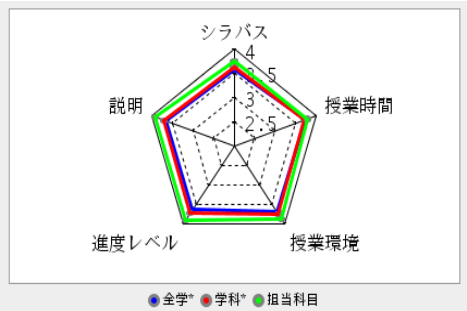
授業評価についても、自己評価と同様、いずれの質問に対しても肯定的な回答が 90%を超えており、授業に対する学生の満足度が高いことが分かる結果となっています。しかし、自己評価の分析と同様に、それぞれの質問に対する最も高い評価の結果だけに着目するといくつかの課題が見えてきます。まず「授業の開始・終了時刻」と「集中するための環境」に関する質問についてはいずれも肯定的な評価が 70%を超えており、多くの学生が授業を受ける環境に十分満足していることが窺えます。一方、「進度やレベル」と「説明のわかりやすさ」については 68%、「意欲や理解を促す工夫」については 65%、さらに「シラバスの説明」については 62.9%と、授業そのものに対する満足度は、環境に対する満足度と比較すると若干劣っている結果となっています。このことから、自己評価の結果からわかった課題と同様、より一層の授業改善が求められていると考えられます。

前期授業評価『教員から学生の皆さんへ』

令和４年度前期の学生による授業評価に対して、教員から学生の皆さんへの回答をまとめました。

【　幼児教育学科　】

◆　音楽理論



１．授業評価の結果に対するコメント

科目によって評価結果が異なりますが、学生の皆さんからのメッセージを大切にしたいです。またコメントを書いてくださった方、ありがとうございました。今後の励みや授業改善の参考にしていきます。演習系の授業のため、受講者数や皆さんの理解度、進度状況によって授業内容や順番を変更したりすることもあります。その場合は、皆さんに丁寧に説明をする必要があると今回の結果を通して思いました。また評価の方法もしっかりと提示していくべきであり、そうすることで皆さんが安心して、前向きな気持ちで受講できることに繋がるとも思いました。今後改善していきたいです。

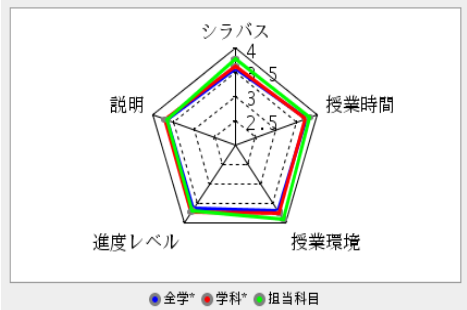
２．今後の授業における目標

皆さん一人ひとりの進度状況を把握しながら、丁寧な指導やコメントにはフィートバックを心掛けたいです。また、授業は受講している皆さんと一緒につくりあげていく部分もあります。皆さん自身も積極的に取り組めるような授業展開に工夫をし、双方が満足する授業を目指していきたいです。

３．受講学生に対する要望

質問や「こうしてほしい」等の意見を積極的にしてください。また、ピアノのスキルアップは毎日の積み重ねが必要不可欠です。空き時間等を活用して、努力し続けましょう！いつでもレッスンします。声を掛けてください。

◆　子ども家庭福祉



１．授業評価の結果に対するコメント

入学して初めての授業でありつつ、専門的な言葉や内容を多く含む授業内容になるので、できるだけ、具体的なイメージをもてるように、そして、保育職との関連性が実感できるように心掛けました。90 分という長い時間でもあるので、導入→展開→まとめといった全体の流れや時間配分、学習形態の工夫も考えながら進めたつもりです。ただ、授業者が適切と思っている手立てと学生さんたちが求めているニーズが十分マッチしていない点が多々あったと感じています。専門的な内容を身近なことと結びつけながら理解し、保育職として活かしていけるように進めていけるようにしたいと思います。

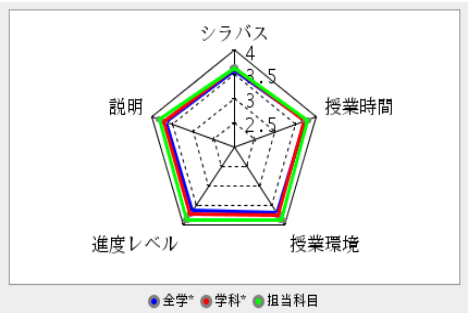
２．今後の授業における目標

講義形式で、専門的な知識理解が中心的な授業内容なので、できるだけ具体的なイメージをもてるよう映像を使用したり、実体験を交えて伝えたりしていきたいと思います。また、受け身にならず主体的に参加できるよう、グループワークを入れながら進めたいと思いますが、その時のテーマ設定が話し合いの深まりを左右しますので、今後は特にどのようなことを引き出したいのかを考えることに力点を置いて授業計画を立てたいと思います。さらに、保育者としての立場で自分事として考えられるように、その時の学習内容と関連付けを行っていくことにも留意したいと思います。振り返り等を記入してもらっていますが、フィードバックが十分できていなかったので、必ず実施することで、疑問に答えたり、個人の学びを全体へ広げたりしていきたいと思います。

３．受講学生に対する要望

言葉としては耳にすることが多い内容かもしれないのですが、その中身については知らなかったことが多い内容だと思います。改めて学ぶことで、「そういうことだったのか」という理解に繋がることを願っていますし、今すぐではなくても現場に出た時に、「そういえば学んだことがある」と知識と実践がつながるきっかけになってくれることを願います。

◆　子ども家庭支援論



１．授業評価の結果に対するコメント

講義系の授業は高い評価を頂きました。コロナ感染を気にしながらもできる限り注意をしてグループワークを実施したり、体験的な内容を組み入れたりして授業を工夫してきたことを評価して頂けてとても嬉しかったです。

授業へのコメントもとても参考になりました。プリントやスクリーンの見やすさにも気を使っていますが、その点も評価して頂けてよかったです。授業を受ける側に立ってみることはとも難しいことで、授業中にみなさんに「何か気になることがあればサインを出して」とお願いしています。

一方、実習系の授業は平均的な評価でした。実習は実習する施設ごとに様子が違い、実習への対応も違うことがたくさんあります。こうした一つ一つについて年間をとおして実習の調整を行っています。授業だけではみえないこともあり、画一的な評価では測れないような気がしました。

２．今後の授業における目標

保育は人と人の関わりが大切な仕事です。人と人の間の関係性をその人の感性で感じ取って、文字にして記録することが求められます。そして仲間と語り合い、一緒に喜んだり考えたりする中で明日の活力が生まれます。

どの授業でも文字で書くことを大切にし、毎回レポートを書いて頂いています。将来保育の現場で、まず子どもの姿を感じて書く（記録する）ことへ必ずつながっていると信じているからです。

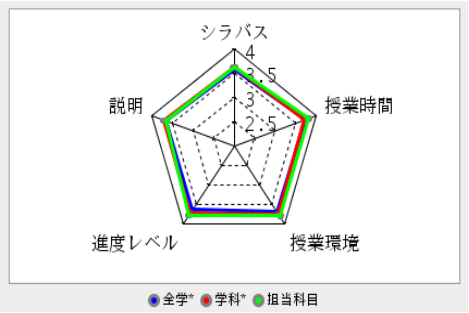
頂いたレポートから学生の皆さん一人一人の思いや今の様子を感じることができます。そこからみなさんとの関係が出来上がってくるように思っています。後期の授業を残すだけとなりましたが、一緒に授業を作り上げる気持ちで毎回向かいながら、みなさんとの関係を大切にしていきたいと思います。

３．受講学生に対する要望

「育てられるものから育てるもの」へ変化していく時であることを繰り返し伝えていくので、しっかりと考えて行動できるようにして頂ければと思います。

安全に対する配慮だけでなく、おおらかな心とやさしい気持ちを持つことは保育する者にとって何よりも大切だと考えています。自分の持っている力を信じて、自分自身によいイメージを持って授業に臨んでほしいと願っています。

◆　幼児と環境



１．授業評価の結果に対するコメント

保育者を目指し、資格、免許を取得するために、保育技術や保育内容などについて積極的に学びたいという学生の皆さんの意欲が感じられる意見がたくさん見受けられ、その気持ちや意欲に応えられる授業内容や展開を行っていくことの必要性を改めて実感しました。そして学外実習を乗り越えて、将来素敵な魅力ある保育者になってもらいと、楽しく興味のもてる授業導入や展開の工夫を学生の皆さんが受け止めて直接体験や経験の大切さを実感してもらえたことがうれしく思いました。コロナ禍ですが、感染対策をしっかりと行ってグループ学修を再開することができたことによって、他学生との意見交流や発表から「学べた」「楽しかった」などと「保育の幅を広げることができた」という意見が多数聞かれたこともよかったです。

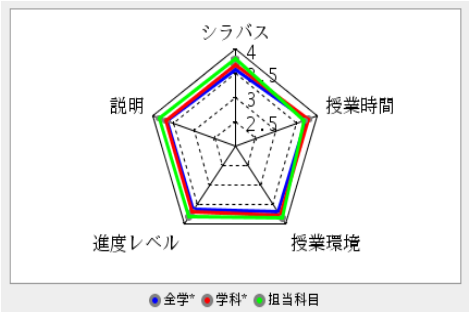
２．今後の授業における目標

今後は、自己の取り組みに対する評価、成果への指導の工夫を行い、個人の良い点、課題点などのフィードバックができるようにしていきたいと思います。教員からの指導だけでなく、他学生から学んだり気付いたりできるようにし、自分自身の苦手な部分、足りない知識や技術がわかり、自己課題が明確になるようにしていきたいです。複数人の教員が担当する授業では、教員の連携を更に密にし、学生への指導の一貫性や連絡の相違がないように注意を払っていきます。

３．受講学生に対する要望

学外実習に向かって不安や大変なことばかり思いがちですが、自分自身の良さや得意な点、身に付けた保育技術、子どもとの関わり方など学修したことを自信をもって取り組んでもらいたいと思います。
保育現場は、一人で保育するのではなく、チームで行いますので、他学生とのコミュニケーションの仕方を考えつつ、グループ学修の経験を更に積んで他学生の良さに気づき、取り入れることができる人にどんどんなってもらいたいと思います。楽しんだり、面白がったり、発見したり、驚いたり、感動したりを分かち合ったりしながら、保育者目線と子ども目線で配慮点や指導点、環境構成など様々な場面や保育を考えられる授業で学生の皆さんと共に学びを深めていきたいです。

◆　体育Ⅰ



１．授業評価の結果に対するコメント

・個別で担当した科目について、概ね平均を超える評価を受け、受講した学生にとって実のある学修になっていたのであればうれしく思う。良い点については継続できるように努めたい。

・演習科目を多く受け持っており、演習科目における学生の自己評価「マナー」の評価が、どの科目においても高い数値であった。学生が授業に興味をもち意欲的に学んでくれているという実感があり納得いく。学生の授業に取り組む姿勢、マナーの良さに感謝したい。

・「幼児の運動・遊び」のシラバスの項目が他に比べ低かったことから、毎時の授業の内容とその授業の目標を明確にし、分かりやすく伝える必要があったと考えている。

・「スポーツ演習Ⅰ」では、特定の学科の学生に偏った関り方があったと指摘を受けた。受講する学生が不公平、不快を感じる教員の態度は不適切であり、まだまだ人として未熟であると猛省する。誰にでも、公平、平等に関わるよう努力する。

・複数の教員で担当している科目について、シラバスの変更や教員によって指示が違うことにより、学生が困惑したという意見があった。教員間で学修内容や授業展開についての事前の共通理解が不十分であったと反省し、教員間の連携に務めたい。

２．今後の授業における目標

・「幼児の運動・遊び」や「子ども基礎研究Ⅰ」の学生からのコメントから、学修内容が将来の職業に具体的にイメージできる場合、学生の授業への関心度は高くなることが分かる。授業での学修が、どのような場面でどのように役立つのか、学生がイメージできるような学修目標の提示に工夫するようにしたい。

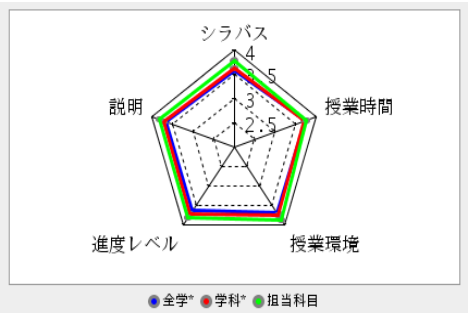
・教養「スポーツ演習Ⅰ」「体育Ⅰ」「体育Ⅱ」では、授業外学修が他の項目に評価より低い傾向があったことから、健康に関する普段から心がけてできるような学修課題を提示できるようにする。また、体育や運動を得意とない学生も一定数存在することを考え、授業の内容を学生の実態に応じて設定するとともに、誰に対しても励ましや応援の言葉をかけられるように努力する。

・障害者スポーツ演習の評価が全体的に低かった。資格関連の科目であり学修内容は定められていることから、学生が受け身的な授業展開になっていたと考えられるため、学生が主体的に学べる学修展開として、グループワーク等を積極的に取り入れるようにする。

３．受講学生に対する要望

・授業に意欲的に取り組んでいる学生が多く、また授業態度もよく、教員として授業が展開しやすく大変感謝しています。将来の職業や生活に直接役立つ授業内容が多いですので、今後も今の学びを大切にしていただきたいです。

◆　造形・基礎



１．授業評価の結果に対するコメント

制作について、制作内容や制作方法（個人制作やグループワーク）を楽しく感じ、積極的にやれたようで嬉しく思います。
授業の説明については、動画など視覚教材について、制作過程を理解するために効果がありそうなので、続けて作成したいと思います。

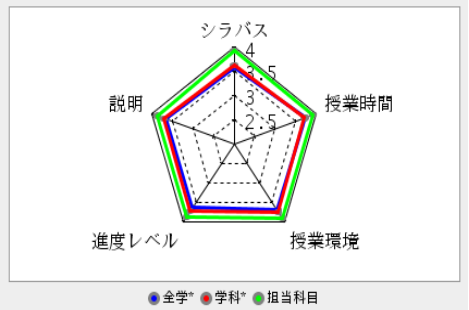
２．今後の授業における目標

制作について、最初にアイディアをじっくりと考えたい学生もいるので、制作時間については事前に課題を発表するなど工夫をしたいと思います。授業の説明については、造形室後方の学生にも見やすいスライドの文字の大きさや照明の設定などを工夫していきたいと思います。

３．受講学生に対する要望

スケッチブックなどのちょっとした表現あそびを気に入ってくれた方も多かったので少しずつ機会を増やしたいと思います。

◆　保育原理、実習指導Ⅱ　他



１．授業評価の結果に対するコメント

受講学生の皆さんが一生懸命学ぼうとしてくれているのが伝わり、とても嬉しく思います。実習に向けて行った「各年齢発達と実習生の動き」など、授業で新しく試みた内容についても好評だったようですので、皆さんの意見を参考に、今後の授業にも活かしていきます。今後は、課題内容に合わせて、グループ課題と個人課題を上手く振り分けて、時間外課題として学生の力を思い切り発揮できるよう、工夫していきます。

２．今後の授業における目標

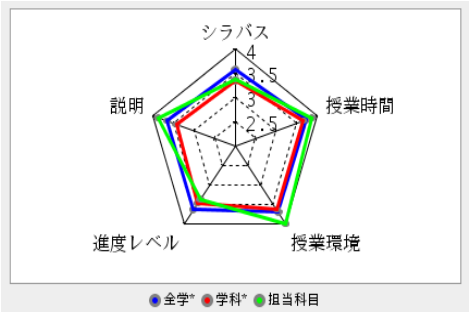
学生同士のワークでの学びが大きかったとコメントからありました。ワークの課題設定やグループ、内容に対してのフィードバックなど、まだまだ課題はあると思いますので、皆さんの学修が充実するよう改善していきます。特に、授業コメントに対してのフィードバックはできていましたが、ワーク内容に対してのフィードバックは不充分であったかと思いますので、今後の課題とします。

３．受講学生に対する要望

授業の進行や進度に対して、心配や不安、また要望などがあれば科目開講中にぜひ教えてください。

【　デザイン美術学科　】

◆　メイク・服飾概論



１．授業評価の結果に対するコメント

1,2 年生が入り混じっている授業で、かつ初めて担当するものであったことから、授業の展開、方向性など、少々戸惑いながら行った面があり、その戸惑いが、（特に 2 年生には）伝わってしまった部分があると思う。

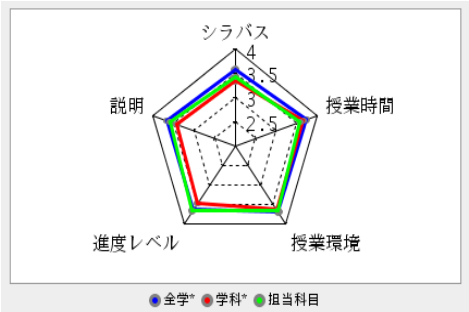
２．今後の授業における目標

授業後半で、展開や方向性がある程度安定したと感じてはいる。特に、時代性のある様々なコスチュームについての話は、学生たちの作品制作に於ける説得力にも良い影響を与えることができると思うので、話の順序も含め内容について、改めて確認し、次回につなげていきたい。

３．受講学生に対する要望

5 時限目等遅い時間での講義を、集中して聞くのは大変だったかもしれないが、上記のような授業の意義をくみ取り、頑張って学んでほしいと思う。

◆　デジタルコミック基礎



１．授業評価の結果に対するコメント

各授業プラスとマイナスの意見が聞けて今後の授業構築に大いに役に立つと思われる。

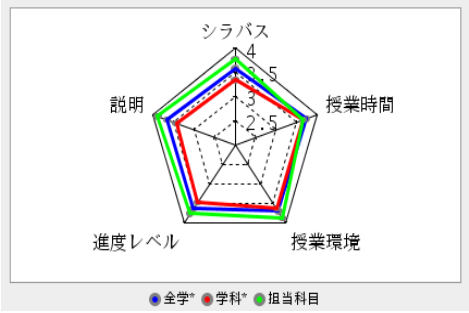
２．今後の授業における目標

学生全員に対して配慮をすれば授業内容が浅薄になりがちであるしレベルを少し上げればついて来れなくなった学生からの不満が発生するというジレンマは今後も大きなテーマである。年度別で変動する学生のレベルを今以上に把握し、その上で授業内容のマイナーチェンジをこまめに行うことを今後も続けていく。

３．受講学生に対する要望

学生なので仕方ない事ではあるが浅薄な思考・価値観に固執せず「大人予備軍」として広く知識・経験を積んでいって欲しい。

◆　描写基礎Ⅰ



１．授業評価の結果に対するコメント

　アンケートへのたくさんのコメントをいただき、ありがとうございました。考えを巡らしたり、制作すること、表現すること、作品を観ることの楽しさが伝わってよかったです。今回いただいたコメントとしっかりと向き合い、よいところはよりよく、問題点にはしっかり向き合い、要因を探り、対策を講じたいです。

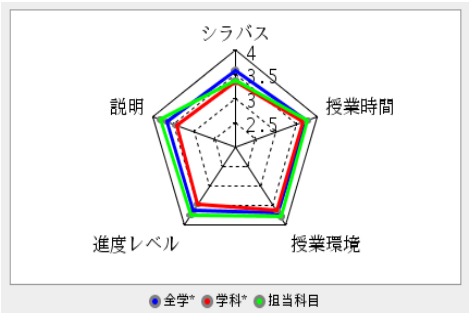
２．今後の授業における目標

　授業では、表現の基礎を理解し、体現し、今後の制作のために、豊かなビジョンを描けるような学生を育てていきたいと考えています。学生の自主性と共に育て、学生が『自分は頑張った。』と思えるような授業づくりをしていきたいです。そして、個々の特性に合った指導に努め、成果を実感できる授業にしていきたいです。

３．受講学生に対する要望

　得た情報を自身の技能とするために、
時に、一心不乱に絵を描いてみよう。
時に、評価された「もの」や「こと」にいっぱい触れ、共感体験をしてみよう。
時に、評価されたものの「意味と価値」について考察してみよう。

◆　ＣＧキャラクター基礎



１．授業評価の結果に対するコメント

　受講生コメント（科目 CG キャラクター基礎）指標に、【】の要点にわけ、今後の授業目標を考えた。
※以下、受講生コメント。
【実感】
初めてキャラクターを作った時と比べたら今作ったキャラクターの方が上手くできている気がして上達したなと思えました。
【展開】
「今までパソコン操作が苦手でCG制作が出来るか不安だったのですが、この授業を受講して自分にも制作できることが分かり、楽しかったです。
【業務ソフト】
・3Dモデルの作り方をプロと同じソフトで作れてよかったです。

【継続力】
・楽しく学べる授業で、家で制作したいと思えた。
・CGでキャラクターを作ったことがなかったので純粋に楽しかったです。
・CGの魅力を知れた

【わかりやすさ】
・普段では学ぶことの出来ないようなことを沢山教えて頂きました。またその説明も、楽しくまたしっかりとしていてとても分かりやすかったです。

２．今後の授業における目標

「夢を叶える」ため、放課後、作品制作・技術習得にどれだけ取り組めるか。本学、他学の成功例から、放課後の作る時間を多くする必要がある。　放課後の時間、交通、個人の制作環境、限られた条件をふまえ、制作時間を増やす。

（同じ場で共有）

放課後の制作意欲を維持する上で、教室で同じ時間を共有できると効果を発揮する。

（解決力）

わからないところを、ネット検索、書物で調べる習慣。

（学生どうし、互いに教え合う）

「教えるときは、理解度の確認となり」「教わるときは、理解できた学生の思考を実感」

例：数名が同じ問題で止まった際。解決のヒントを、学生から学生へ伝える。

３．受講学生に対する要望

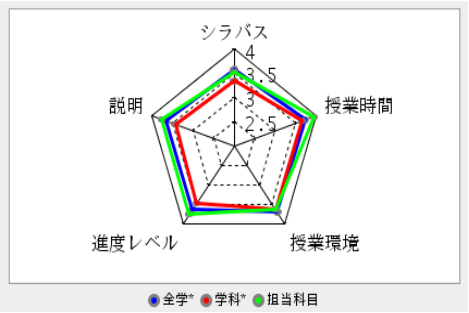
放課後、作る時間を大切にしてください。

「作ってみる」

あっという間に、時間が経ちます。

ゲーム会社・アニメ会社、目標は、日々の制作からはじまります。

◆　デザイン論



１．授業評価の結果に対するコメント

対象が２年生であり、就活やコロナ禍と重なり、出席状況が良くない部分もあったが、数年の積み重ねで内容や方法の試行錯誤をしてきた中で、私自身の経験とアカデミックなデザインの学びを繋げるという意図が伝わり、かつ学生のやる気と能力を引き出せたと思った。

２．今後の授業における目標

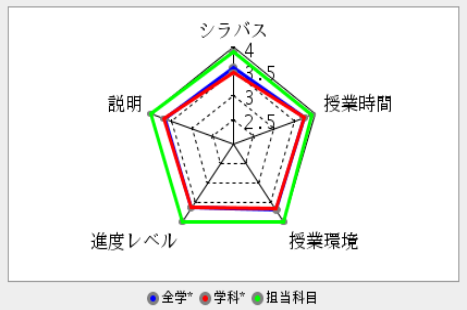
人数に対し教室が広いので、顔は見えているのだが私語やその他について注意することは難しかった。席順は自由だが前の方に座るよう指示したほうがよかったかもしれない。授業時間外の学修については、もう少し宿題を出して、さらに深い学びを引き出せればよかった。授業内容については、これからも更新していきたい。

３．受講学生に対する要望

15 回の授業の欠席可能数を計算しギリギリ多く休むことはせっかくの学びの機会を自分で損ねていると思いますので、ぜひできるだけ出席して、自分が何を学びたいのかしっかりとした自覚をもつ方がいいと思います。そのような授業をしていきたいと思います。

【　音楽総合学科　】

◆　卒業演奏Ⅰ



１．授業評価の結果に対するコメント

専攻楽器Ⅰ、卒業演奏Ⅰ

シラバス、授業時間に関する項目の評価が、他項目と比較し低いようである。シラバスに関しては、個々の技量に合わせて個人レッスンを行っているため、進捗状況、指摘事項などシラバスと大きくかけ離れてしまう学生がいるためと考えられる。授業時間に関しては、各種会議、出張などが多くあり、休講→補講が重なったため学生には迷惑を掛けたと思う。

音楽総合特講Ⅰ・教養キャリア基礎演習Ⅰ

授業時間項目の他は全学、学科平均前後である。授業時間に関しては、学外講師を招いた際に、若干延長、早めに終了などがあったためと考える。

楽器店実習

夏季休業中に実施予定であったが、新型コロナ蔓延の関係で実習は中止とし、9 月 26 日までにレポート提出としてある。4 名の回答者がいるが何を根拠に答えたのか…。(成績は後期)

２．今後の授業における目標

専攻楽器Ⅰ、卒業演奏Ⅰ

シラバスに関しては、授業評価に関するアンケートにも記したが、形式にとらわれず実態に沿った表記となれば、学生の不満も解消されるかと考える。授業時間に関しては、定例外の会議、出張は出来る限り授業と重ならないよう努めるが、他の会議メンバーの方の都合、出張先のスケジュールなどでどうしても休講せざるを得ないことが予想される。今後は対象学生に丁寧に説明し理解を得るよう改善したいと考える。

音楽総合特講Ⅰ・教養キャリア基礎演習Ⅰ

学外講師を依頼する際、講義時間を明確に伝え準備していただくよう伝える。

３．受講学生に対する要望

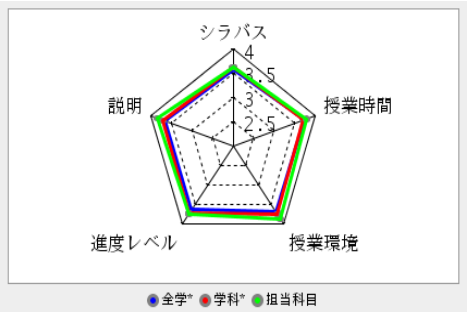
専攻楽器Ⅰ、卒業演奏Ⅰ

レッスンに取り組む心構えとして、指摘された内容を理解し練習することは当然ですが、指摘されたことが理解できなかった場合や、個々の不得手なことを克服するための練習方法を知りたい場合などは積極的に質問してください。

音楽総合特講Ⅰ・教養キャリア基礎演習Ⅰ

毎時間のレポートは、感じたことを率直に書くようにしてください。

◆ 音楽心理学



１．授業評価の結果に対するコメント

今回すべての授業について授業評価を行うこととなり、人数の少ない授業でも意見をもらえたのは良かったです。ここ数年の新型コロナによる影響により、授業の ICT 化が行われ、授業動画を YouTube の限定配信に上げることや、授業の感想や質問を Google Forms で集めることなどが普通になりました。特に学生の評価が高かった授業はただ話すだけではなく、動画を見せたりキーワードを書きとらせるような、わかりやすい工夫を行ったものでした。コメントには、キーワードが書きとれなかった、専門用語が難しかったというものが複数見られたので、スライドの速さや提示の時間も含め、こちらの提示した内容がしっかりと伝わるように工夫を行いたいと思います。

２．今後の授業における目標

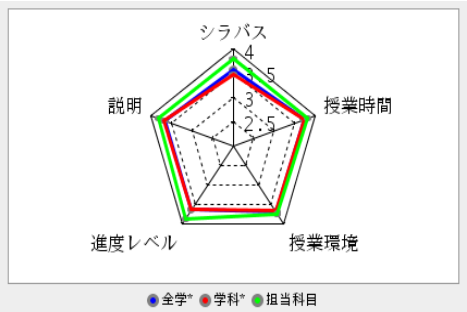
コメントには、キーワードが書きとれなかった、専門用語が難しかったというものが複数見られたので、こちらの提示した内容がしっかりと伝わるように工夫を行いたいと思います。具体的には専門用語については独自の資料を作る、キーワードは授業の終わりにまとめて掲示するなどを考えています。

授業プリントを pdf 化して上げることは今期行っていなかったのですが、プリントをなくした、欠席したなどの事情で後からほしいという学生に対応するために今後は授業後に毎回、資料を学生ポータルに上げるようにしたいと思います。

３．受講学生に対する要望

教養科目の授業に対するモチベーションが低い学生がいます。授業内で私語などをたびたび注意することとなり、周りの学生からも苦情が来ています。せめて周囲に影響を及ぼさない態度で受講してもらいたいです。授業に関する質問や感想を多くいただき感謝しています。できるだけ双方向のやりとりができることが主体的な学びにつながると思いますので、わからなかったこと、さらに知りたいことも含めて意見をもらえたら嬉しいです。

◆ 吹奏楽実践演習・アンサンブル・演奏会研究他



１．授業評価の結果に対するコメント

「自己の取り組みに対する評価」において、各教科「マナー」「意欲」「時間外学修」については、ほとんどの科目で高く、学生諸君が意欲的に授業にとりくんでくれたことにまずは感謝したい。一部の科目において、「声が聞きづらい」という指摘を受け、喉の病気が原因だとしても、大変迷惑をかけてしまった事を切にお詫びしたい。進度レベルについても、概ね良好な結果であったが、一部科目で「速い」というコメントをいただいたので中身を精査したい。「演奏会研究」の授業において、学生諸君の積極的な取り組みや、発表における切磋琢磨の姿勢を見て、改めて、表現する営みの大切さを痛感した。

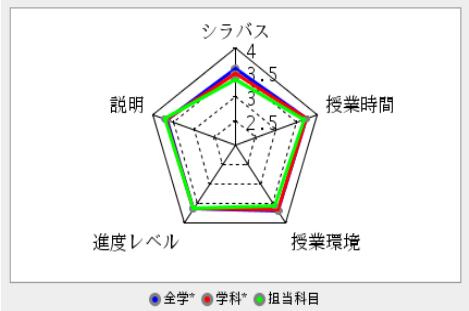
２．今後の授業における目標

「聞き取りやすい授業」の実現するために、マイクの使用、滑舌のよい話し方、適切な話す速度を心がけたい。また、「学生諸君がさらに理解を深める授業」の実現のために、進度の見直し、内容の精査、資料の見やすさ等をもう一度検討したい。実際の学生諸君の努力が、個々人の骨肉の財産となるよう更なる授業改善を進めたい。

３．受講学生に対する要望

今後、学外演奏や、定期演奏会等の発表の場を多く経験し、演奏する喜びを実感できるようになることを切に願っています。そして、その大切な発表のために計画的に準備を進めていきましょう。また、音楽には、答えは一つではなくたくさんあります。多様な音楽へのアプローチの仕方を学んでいきましょう。

◆　卒業研究Ⅰ



１．授業評価の結果に対するコメント

担当している授業は７科目を持っており、全てに於いて全学、学科平均値を下回っている事を重く受け止めている。やる気のある学生と、単位さえ取れればという学生が混在し、やる気のある学生からは、授業中の雰囲気について指摘を受けたが、科目履修登録時に授業内容を十分に理解できるように説明をしたつもりだが、友人が取る。また、履修登録時に、この授業を取るのを止めさせることが出来ません。
このような事から、授業中の雰囲気の悪さが出てしまったのかと思います。

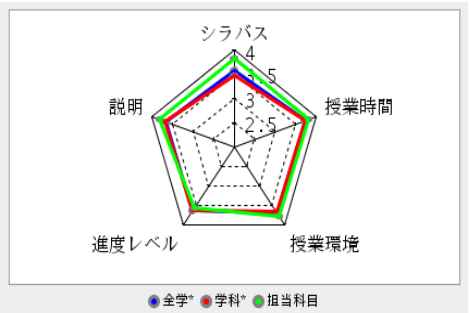
２．今後の授業における目標

履修登録時の説明不足があったと感じる為、十分に理解する様にしたい。

３．受講学生に対する要望

取り組む姿勢は大方良いと思いますが、40 数名をフォローするのに時間中では消化出来ない部分があり、授業の進め方についてその都度変更して何とかすすめた感があります。

◆ リペア基礎（総合）



１．授業評価の結果に対するコメント

複数の教員での授業のため、個別の評価はわからないが全体的にどの項目も概ね良かったと思う。

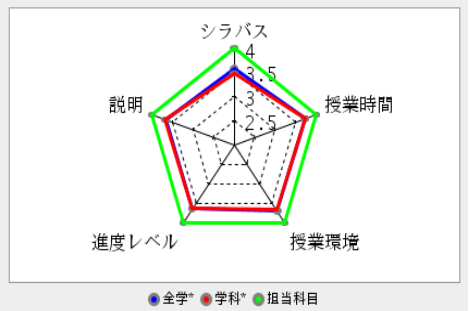
２．今後の授業における目標

より学生が理解できるように板書の改善・今以上に実際の作業をみせるようにし技術向上に努めたい。また、学生全員が授業に集中できるようにメリハリのある授業を心掛け授業環境を整える。

３．受講学生に対する要望

実技系授業に於いては、技術を身に付ける為に何度も繰り返し作業を行うしかありません。授業外の時間等を有効に使い技術の定着をしてもらいたい。

◆ ピアノⅢ



１．授業評価の結果に対するコメント

全授業にわたり、学生の授業に対する取組も、授業内容と進め方も概ね良い評価でした。学生は各科目、大変意欲を持って取り組み、知識や技術の修得がしっかりとできたようです。この「ピアノⅢ」でも、個別指導の科目のため受講者数は少ないですが、自己の取組も授業の取組も良い評価でした。自由記述では、ピアノの技術面や表現についてたくさん学ぶことができ、流れるように弾くことを意識して弾くことを学ぶことができて良かったとあり、授業を通して、技術や個々の課題となることを身に付けることができたようでした。他の個別指導の科目でも、一人ひとりに合った進度や教え方で教えてくださって分かりやすかった、個人個人のレベルに合わせて分かりやすく教えてくださるところがとても良かった、分かりやすく指導をしてもらえるので、何が自分に足らないのかよく分かるし、練習の仕方や練習で気をつけることがはっきりするのでとても良かった、表現方法について、もっと改善した方がいいところや、自分の演奏に足りていないところなど具体的に指導してもらい、それを自分の演奏に活かすことができたので良かった、などの記述があり、個々の力や状況を十分に把握しながら適切な指導を行うことの重要性、ピアノ指導における個別指導の有効性などをあらためて実感しました。

２．今後の授業における目標

この科目をはじめ個別指導においては、一人ひとりを大切にした指導を継続していきたいと思います。そして、学生一人ひとりの楽曲に対する理解度を高め、技術や表現力の修得に繋がるよう細やかな指導をしていきたいと思います。また、授業中のマナーや授業に集中するための環境、シラバスの説明、授業の時間などの評価が低い科目がありました。個別指導ではコミュニケーションを図りながら授業を進めますが、それが授業中のマナーや授業に集中するための環境で低評価に繋がっているようでした。学生・教員相互に個を知る上ではコミュニケーションを図ることは必要であると考えていますが、今一度バランスを考え授業を進めていきたいと思います。また、シラバスの説明においては、初回授業で説明するようにはしていますが、毎回評価が高くはないですので、さらにしっかり説明するとともに、実技系科目のシラバスは難しいところがありますが、可能な限りシラバスを重視していきたいと思います。授業の時間についても、個別指導の科目では一人あたりの時間配分に注意して授業を進めていきたいと思います。また、自由記述で、初めて学んだ授業で新しい知識をたくさん得ることができて良かった、就職後の活動にも活かせる知識や実践方法をたくさん吸収できたので良かった、などとあった科目もあり、修得した知識や技術が卒業後の進路や実践に活かされるような授業内容、指導方法を展開していきたいと思います。

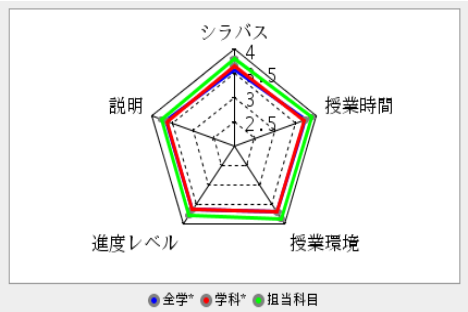
３．受講学生に対する要望

今回の学生の皆さんの授業に対する取組の評価から、一人ひとりが目標と自覚を持って意欲的に取り組んでいることがよく分かり、同時にそのような学生の皆さんと一緒に授業ができることをとても嬉し

く思います。新しい知識や技術の修得は大変で難しいことも多いと思いますが、その都度、本学で学ぶ意味を確認し、意欲を維持しながら取り組んでほしいと思います。

【　歯科衛生学科　】

◆　微生物学



１．授業評価の結果に対するコメント

１年次生の【微生物学】への授業の取り組みに対する評価は５項目とも全学・学科平均を越えており、満足いくものでした。

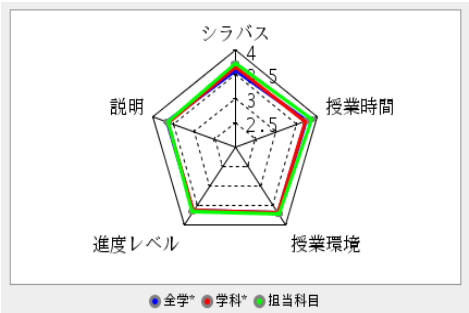
２．今後の授業における目標

【微生物学】は現状維持に努めます。

３．受講学生に対する要望

歯科衛生学科の学生には将来の「歯科衛生士国家試験」を常に念頭において授業参加してほしいです。

◆　解剖学



１．授業評価の結果に対するコメント

概ね予想どおりです。どの科目も参考文献を多量に買い込み、スライド作りにひたすら時間を割いたし、ほぼ同じやり方で授業を行ったので、科目間の評価が異なるとすれば、それは学生の興味をひく科目かどうか、が大きな要因となるのか、と考えます。衛生学･公衆衛生学は法律的知識や疫学的知識を問うものが多く、苦手な人が多かったのかという印象です。また「授業の開始時間や終了時間は定刻どおりでしたか」という評価項目がありますが、全ての科目で定刻通りに開始終了しているにもかかわらず、解剖、口腔解剖は高い評価、衛生学・公衆衛生学は低い評価になっていることも実に興味深いです。

２．今後の授業における目標

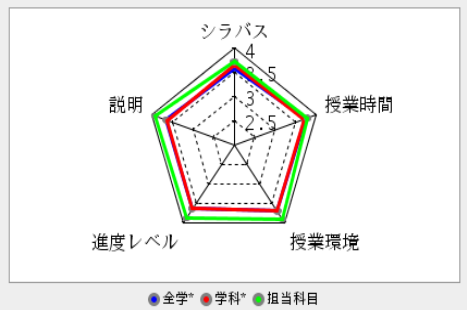
本結果を踏まえ、来年はスライドのブラッシュアップを確実に行うことと、小テストのデジタル化を考えています。科目ごとでいうと、解剖と口腔解剖は、最初の 5 回分あたりは国家試験過去問を入れ込む余裕があまりなかったので、来年は最初から国家試験へ向けての授業構築を考えたいと思います。
一方で頭が痛いのは衛生学・公衆衛生学。「プリントの量が多すぎて重要な所が分からない」というコメントがある反面、「資料が見やすく、小テストがあることで理解しやすかったです」とか、正直これらのコメントを鵜呑みにするのは危険ではないか、と思うようなブレ方です。今一度、スライドやハンドアウトを検討し、少しでも興味を持ってくれるような講義にすることを一番の目標としたいです。

３．受講学生に対する要望

１年生は欠席も少なく、頑張って授業を聞いてくれましたので、特に要望はありません。一方で２年生

は欠席が多い。こちらも何とか興味を引く授業にしたいと努力はしますが、欠席されるとどうにもならないのです。

◆　歯科臨床概論



１．授業評価の結果に対するコメント

学生にとって初めて触れる専門の内容であるにもかかわらず，授業内容や配布資料がわかりやすいという評価がいただけた。授業に際し，

１）重要事項を明快に示した理解しやすく勉強に取り組みやすい配布資料を心がけた。また，学習内容の理解と興味を促すため，カラーの図や写真も多く取り入れるようにした。

２）情報を整理して提供する。特に，要約を重視し，何を知ればわかったことになるのかを意識させるようにする。

３）国家試験対策を授業に取り入れる。

４）授業の度に重要事項の復習をし，繰り返しの習慣化を目指す。

５）「褒めて育てる」の精神で励ましの言葉がけなどを行い，学生のやる気を促すようにした。

ということを心がけた。多くの学生が自由記載欄に記入しており，それらすべて上記のことを非常に好意的に受け取っていることがうかがえる内容であった。

２．今後の授業における目標

自己の取り組みに対する評価，および教員の取り組みに対する評価のいずれにおいても全ての項目についで学科平均を上回る評価がいただけた。わかりやすい授業を心掛けたことで，多くの学生から，「簡潔に分かりやすく説明して下さったのですごく頭に入りやすかった。沢山新しい知識を覚えることが出来ました！」,「分かりやすくまとめられているので自ら積極的に勉強に取り組む意識が出た」といった感想をいただいた。改めて，学生に「これならできる」と思わせるような教員側の創意工夫の大切さを学生から学ぶことができた。今後も学生に喜ばれる授業を心掛けたい。また，どの科目についてもシラバスに対する評価が他の項目と比べて低い傾向にあるので，内容をより分かりやすく提示するよう改善する。

３．受講学生に対する要望

１）真面目に授業に取り組む。

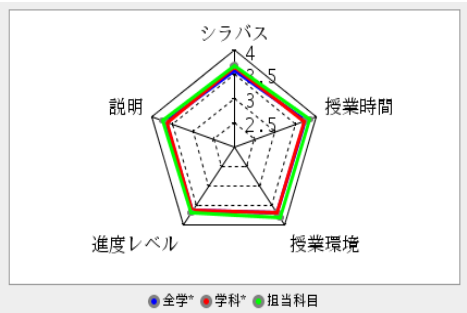
２）習った内容をできるだけ早い時期（できれば１日後）に目を通す。

３）キーワードや重要事項を覚える。それによって，その科目を理解し攻略していく上での柱を作る。配布資料では太字や赤でなどで協調しているので，よく目を通すこと。

４）勉強する上での最強の方法は「要約」です。「要約」とは，「わかりやすく，かつ少ない文字数でまとめる」ということ。要約をすれば，「いったい何を理解すれば，その話がわかったことになるのか（これを「本質」と言う)」がわかる。学ぶべきことについて，「一言でいうとどういうことなのか」を意識して勉強すると良いです。

５）覚えるべき内容について，「なぜこうなるのか」を理解すると，記憶が効率的になる。しかも記憶が長持ちする。知識と知識を「なぜ」で結びつけて覚えるようにしましょう。

◆　病理学



１．授業評価の結果に対するコメント

良い評価を頂けて感謝している。少しでも医療・疾患に興味をもってもらい日々の学習効果をあげたいという工夫が身を結んで嬉しい。特に難解と思われがちな「病理学」において良い評価であったことは次につながる。担当している全科目において内容が盛りだくさんなので、進度がどうしても早くなってしまうところがあったので今後検討・改善を図りたい。

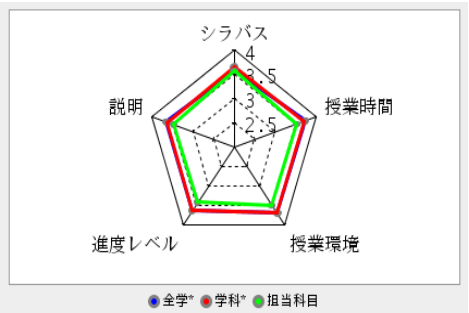
２．今後の授業における目標

内容を再度ブラッシュアップし、医療系初学者にとって基礎分野から臨床分野への橋渡しにより貢献したい。

３．受講学生に対する要望

復習をもっとしてもらい、覚えることに力を入れてほしいところである。また、「自分たちは医療系の中でどの分野を目指しているのか。」を意識した学習と試験対策をしていってほしい。

◆　発達口腔保健演習



１．授業評価の結果に対するコメント

今回は、定期試験直前に最終講義（まとめ）を実施することになり、「勉強する時間が欲しかった」というコメントがありました。今後は、定期試験日と最終講義の日程に配慮したいと思います。また、可能な場合は、連絡方法として classroom を活用していきたいと思います。

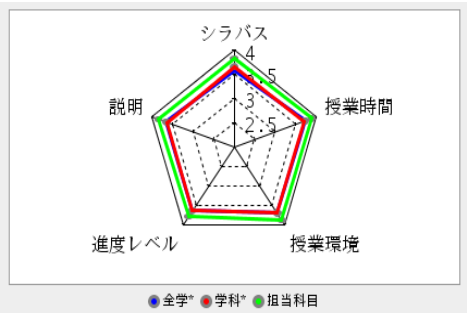
２．今後の授業における目標

科目によりますが、演習を通して「対象者どう伝えるか」「対象者はどう思うか」を考えていけるような授業を展開していきたいと思います。

３．受講学生に対する要望

これからは、臨床実習等もあり、忙しい毎日になると思います。習得しなければならないことも多くなりますので、日々、コツコツ勉強してください。また、体調に留意し授業等欠席しないように努めてください。

◆　歯科衛生士概論



１．授業評価の結果に対するコメント

講義科目は、今回非常に、全体的に高い評価をいただいた。科目ごとに、講義を聴きながらプリントを完成していく方式を依然と変えずに行っている。しかし、書かせることが多く、大変であるコメントもあった為、穴埋め方式にし、時間内にかける量に変えたことで、学生に確認しながら行ったこともよい評価の結果だと考える。また、Google　Forms を使用して、意見交換などができたこともよかったのではないかと考える。

２．今後の授業における目標

授業については、今後もこの方式で、進めていきたい。

３．受講学生に対する要望

決められたことを守って、課題などを提出でるようにとりくんで下さい。分からないことなど自ら聞きに来て欲しい。

診療補助応用Ⅱ

１．授業評価の結果に対するコメント

実習においては、評価が、部分的に低いところもあり、特に、延長になることもあったたり、配布プリントが見にくいなどのコメントから見直していきたい。

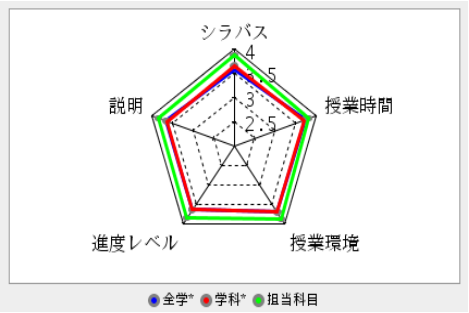
２．今後の授業における目標

実習においては、時間内に実習が終われるように余裕を持たせた計画を、立て直していきたい。動画などを利用して、各自で復習できるようにすることや、分かり易くするための資料などを作成、配布できるように改善していきたい。

３．受講学生に対する要望

実習は、反復練習が必要です。時間外を利用して取り組んで下さい。復習テスト後は、必ずプリント、テキストを使用してやり直すことで、一層自らも理解していって欲しいと思います。

◆　歯周病予防技術法Ⅰ



１．授業評価の結果に対するコメント

「自己の取組に対する評価」の１年の科目「歯周病予防技術法Ⅰ」では、意欲、時間外学修、知識技能修得が平均よりやや高い結果であった。意欲があり時間外に練習をした結果修得できたのではないかと考える。「歯周病予防技術法」の科目において授業内だけでは、技術は修得できない科目となるので意欲的に取り組めるように声をかけていきたい。

「授業の取組に対する評価」では、１年の科目「歯周病予防技術法」は平均より高い結果であったが一人一人の理解の差があり授業を進めるにあたり、時間配分を検討したい。

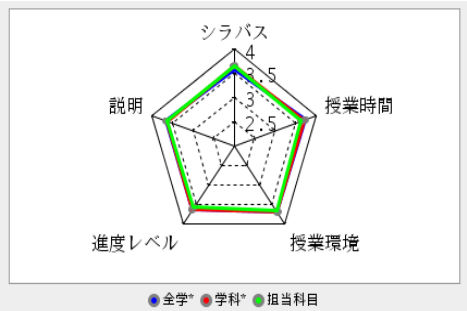
２．今後の授業における目標

１年の時の意欲のまま２年も、継続して取り組めるよう工夫をしたい。１人１人の理解の差はどうしてもできてしまうので、できなかった学生が困らなうようにこちらから積極的にアプローチしたい。

３．受講学生に対する要望

授業時間だけでは、修得することができない科目なので時間外でもたくさん練習をしてほしい。分からない時は分からないことを教えてほしい。授業内で理解できなかった時は、聞きに来てほしい。

◆　保健指導法Ⅱ



１．授業評価の結果に対するコメント

相互実習やグループワークが多い科目では、「理解」「時間外学修」「知識技術修得」の部分に関する評価が低かった。演習や実技を通して得られた情報を分析して問題点を抽出するなどしている。その中で、学生自身は、すでに修得している知識や技術を活かして授業に臨んでいる。そのため、新しい知識や技術修得を実感できていないのではないかと考えている。相互実習が多い科目では、学生は自分自身のペースで進めることができない。そのため、ひとり一人の学生の評価としてはこのような結果となったと考える。

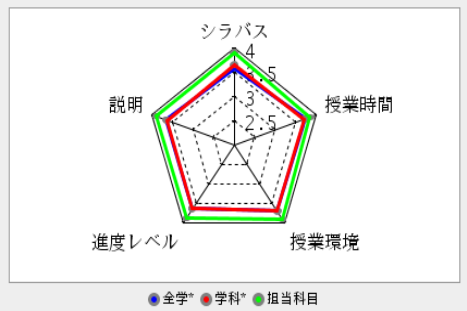
２．今後の授業における目標

今後は、学生個人個人により細かに声かけを行い、ひとり一人の取組に対する評価を向上させるように工夫する。また、実習科目の場合、担当教員が複数名となるため、教員間での指示内容を統一するなどし学生が授業に集中できる環境づくりをしていく。

３．受講学生に対する要望

授業内でわからないことがあれば、その場で手を挙げ質問してください。

◆　診療補助基礎Ⅰ



１．授業評価の結果に対するコメント

・初めてリードで持つ授業だったので、思っていたよりも評価が良くて安心しました。

・自己の取組に対する評価で、マナーの部分が 3.9 と高く、授業内でも身だしなみ・時間、期限を守ることを強く言っていたので今後も意識し続けてほしいです。

・ICT を意識し、クラスルームや動画を使用し授業を進めたことにより、学生の技能の習得につながっ

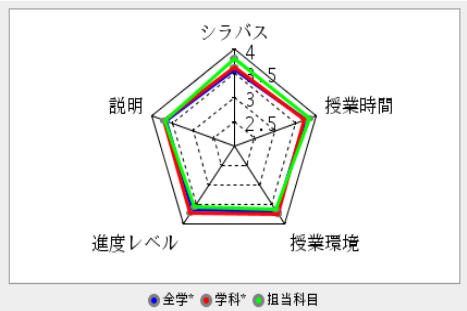
たので今後も活用していきたいです。
・授業内の資料についてはできるだけ写真や図を使い、文字を少なくすることを心掛けていたので資料が分かりやすいとのコメントがありよかったです。
・昨年度の同科目の授業内容と大きく変更し、コロナ渦ですが感染対策を徹底し、相互実習を増やしました。模型と人体の違いに気づいてほしいという狙いだったので、実技があまりできなくても、違いに気づき人体に実習するときに慎重に行う意識が付いたのでよかったです。
・小テストに関しては、実習科目なので実習に時間を使いたい思いと、学生は他の科目でも小テストがあるので大変かと思い、小テストは行わず試験前に小テストの代わりとしてまとめの授業を行いました。

２．今後の授業における目標
・実習科目では、知識も大切ですが技能優先で行く。そのため、実習時間については一人当たりの時間がなるべく多くなるように時間を確保したい。
・ICT ももっと活用していきたい、デモ動画などを多く作成し、小テストなどは 授業後、帰宅中や家でできるように Google Forms を使用して行いたい。

３．受講学生に対する要望
・身だしなみ、時間・期限を守るなど、臨床（社会）に出るにあったて当然のことです。
・やるときはやる、休むときは休むメリハリをつけて実習をしましょう。
・相互実習は緊張感をもって行いましょう。
・教員の話はしっかり聞きましょう。自分で判断できない時は、必ず教員に確認してください。
・できるだけ、実習科目は休まないように、実習のペアの学生にも迷惑が掛かります。体調管理も大切です。ですが、感染拡大防止のためなので無理はしないように。

【　総合教育センター　】

◆　　発達心理学、女性学　他



１．授業評価の結果に対するコメント
　どの授業のコメントにも学生のみなさんが真摯に学びを求める姿が表れていて、授業を通して多くのことが伝わったのだと実感しました。どの授業も、「各々が居心地の良い空間で過ごし、授業で提示する内容への驚きや共感を時には友達同士で語り合って欲しい」という思いで自由席にしているのですが、これは受講者全員にとってより良い授業環境を保つには不向きな場合もあり、そのことが授業評価の結果にも表れていました。改善するために指定席にするかどうかは、もう少し時間をかけて考えたいと思います。インターネットを通じて匿名で発言し意見交流することができるツール、Slido の使用についてはどの授業でも好評でした。自分の意見が抵抗なく言える機会として、また、他の人の意見を幅広く聞ける機会として、今後も有効に活用していきたいです。

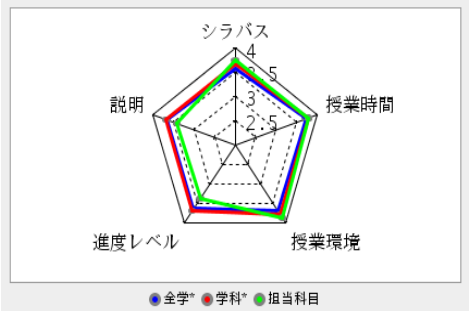
２．今後の授業における目標
　双方向性のある授業の実現
　学生の皆さんの声を出来る限り聞きながら双方向性のある授業を作っていきたいと思います。これま

でも毎回の授業で質問や要望を聞く機会を設け、次回の授業でフィードバックして可能な限り対応してきましたが、まだまだこれ以上に出来る事があるのではないかと思います。授業改善・向上への努力を惜しまず、今より良い授業を行うために新しい ICT ツールの使い方なども習得していきたいです。

３．受講学生に対する要望

今のままで十分です。みなさんの、「もっと学びたい」「もっと上達したい」という気持ちを大切にしてください。今すぐ何かの結果に繋がらなくても、長い人生の途中でふと、大学生の時に得たものが活きてくる時がきっとあります。自分の専門分野に関係があってもなくても、何事も幅広く受け入れる姿勢を持っていて欲しいです。

◆　生活環境論



１．授業評価の結果に対するコメント

・はじめて講義を担当し、規律ある授業、わかりやすい授業を意識し、丁寧に学生に関わった。学生も協力的でよい授業環境で進めることができた。

・教養科目として生涯を見据えた課題を設定した授業展開を工夫した点については、受講してよかったという感想も多かった。

・時間外学修については、具体的な課題を課した際には積極的に取り組める学生も多く、成果があった。しかし、授業後の個々で取り組む学修については、十分な学修ができなかったようである。毎時間に具体的な指示が必要なのか、課題の取り組み方について検討したい。

・授業の進度として、説明量が多い項目もあり、ノートを取るのに精いっぱいだったという感想があり反省すべき点である。

２．今後の授業における目標

・前期の反省をもとに、個々の学生の時間外学修の在り方を工夫・改善したい。

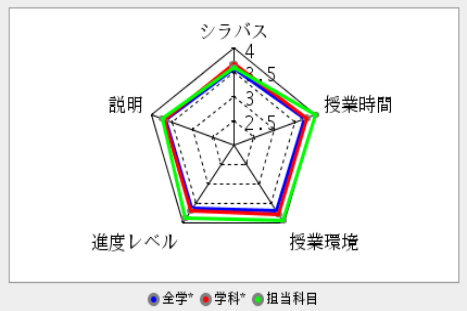
・一人一人の学生が、専門科目（資格取得に関する科目）の内容をしっかり身に付けられるように、専門学科の教員との連携を図りながら進めていきたい。

３．受講学生に対する要望

・これからの人生を意識して課題に取り組んでくれた人が多く、また、具体的に生活を改善しようと意欲がわいたという感想があり、担当してよかったと嬉しく思います。学修したことを知識として理解するだけでなく、実際の生活の中で実践し、向上させてほしいと思います。

・レポートやノートなどの様式が指定された場合に、学籍番号や氏名の記述はしっかり記入するように心がけましょう。また、漢字を適切に使うと言いたいことやポイントも伝わりやすくなります。知識だけでなく社会人として必要な力を一緒に身に付けていきましょう。

◆　情報科学



１．授業評価の結果に対するコメント

授業評価の協力ありがとうございます。情報科学は、全体的にテキストに沿って、情報セキュリティの学修及び文書作成、表計算、プレゼンテーションの各ソフトウェアを活用にしての基礎的なスキルアップを目標とした演習中心の授業でした。講義の内容については、質問に対して適宜対応してきたわけですが、学生の皆さんからのコメントでは、まだまだ説明不足のところがあったように思われます。教育方法論では、授業内でプリントへ書くことが多くあり、書くことに時間を費やして理解が十分でないとの指摘を毎回実施の振り返りから意見をもらい、改善に心がけてきました。また、グループワークの方法も試行的にすすめたところもありましたが、素早く理解して円滑に進めてもらえたと思います。授業後のアンケートを毎回実施してきたことで、様々な意見をもらい授業改善に心がけることができましたが、十分でなかったかと思いますので、今後の課題としていきたいと思います。

２．今後の授業における目標

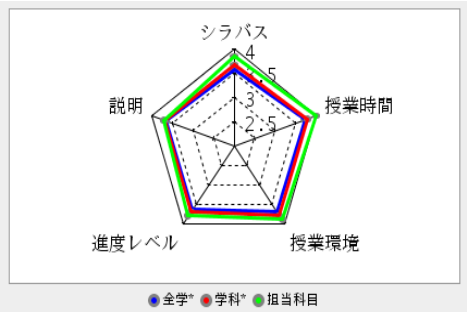
Google Classroom の様々な機能を活かして、授業の充実をめざします。情報科学では、情報セキュリティの学修については、引き続き最新の事例を紹介しながら、意識の高揚を図っていく予定です。また、演習を通して一人一人のスキルアップを目指すとともに、個別に対応した支援の充実を図っていきます。

教育方法論では、仲間と相談したり協力しての協働的活動をとりいれてきましたが、コロナ禍での制限に配慮しての展開がありましたので、改善を加えながら授業の充実をめざします。

３．受講学生に対する要望

テキストや USB(情報科学)、参考資料等の忘れ物があると、学修や演習に遅れが生じるので、準備を怠らないようにお願いします。演習では、わからない点は仲間に尋ねたり積極的に質問したりして解決していきましょう。

◆　外国語コミュニケーションⅠ



１．授業評価の結果に対するコメント

・授業の取組に対する評価結果を見ると、クラスによる差がみられ、相対的に成績良好の学生が多いクラスは評価が高く、成績不振の学生が多いクラスは評価が低い傾向にある。

・英語をもっと覚えていきたい、また英語を学ぼうという意欲が湧いた等英語を学ぶ意欲が向上したというコメントが複数見られた。特に英語学習における音読の意義を理解できた学生が多くいたことは大きな成果である。

・授業の主要な活動であるペア活動を通じて、他学科の学生とも交流でき、楽しく学べたと感じている学生が多い。

・今年度から小テストの内容を改善したことにより、学習習慣が付いた、定着を図ることができた等小テストに対する評価が著しく向上した。

・Google Classroom で当日の新出単語を PDF で配信したことは、次回の小テストの学習に役立つと好

評であった。
・音読の際に英語らしく発音できるようポインタで拍を入れたが、その音が苦手だと感じる学生が複数いたため改善したい。
・座席を指定しているため、毎回同じ相手とペア活動をさせたが、ペアの相手が著しく意欲が低い学生である場合、困っていた学生がいた。ペアの組み方については今後の課題としたい。

２．今後の授業における目標
・もともと英語を苦手としている学生の苦手意識を克服し、英語を学習する楽しさを一人でも多く感じるような授業づくりを心掛けたい。
・学生の取り組み状況の確認。これまで以上に学生の取り組み状況を確認し、一人の学生も取り残さない指導を心掛けたい。
・オンラインを活用し、復習テストに役立つ教材を毎回提供するとともに、毎回提出課題を実施し、家庭学習に取り組む姿勢を形成したい。

３．受講学生に対する要望
　コミュニケーションの第一歩は主体性です。しっかり音読したり、自信をもって英語で答えたりする姿勢を身に付けましょう。

本学の教職員は　これからも
学生のみなさんの学びをさらに深めるために
よりよい授業づくりへの努力を続けます

　学生のみなさん、授業評価にご協力いただき、ありがとうございました。
本学では本年度も、多くの学生が積極的な姿勢で授業に参加し、多くの教員の授業が学生から高い評価を受けました。授業は教員が行うものですが、そこに学生の皆さんが居てこそ成り立つものです。学生にとってより良い授業を実現させるためには、教員による質の高い授業の実施、そして学生の真摯な取り組みと率直な声、それに応える形での教員の授業改善、という循環が不可欠です。毎年実施している学生による授業評価とその結果へのコメントをはじめとして、日ごろの授業の中でも教員と学生とで良好なコミュニケーションを行い、大垣女子短期大学の特色を生かした授業を学生・教員ともに力を合わせて作り上げていきましょう。

総合評価が高かった教員を対象に顕彰が行われています。
令和４年度前期は以下の授業の担当教員が顕彰の対象になりました。

「幼児と運動・遊び」・「保育原理」・「歯科保健指導基礎」